

三戸素子さんのこと

18期 稲村 洋二



三戸素子 (ヴァイオリン)
Motoko Mito

今年のところざわ倶楽部の行事の一つとして、今回クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団を主宰される三戸素子さん、小澤洋介さんの演奏会が開催されることを大変喜んでいました。

お二人は活動の舞台をヨーロッパでの演奏におかれましたが、そのほか米国、アフリカなど世界各地で活躍されています。10 年前日本に帰国され、所沢に拠点を置かれ“所沢から世界へ良質の音楽を”を標語として音楽活動を続けておられます。

私が 5 年前クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団の演奏をミューズで聴いた時、その鮮烈な音の響きに感動したことをよく覚えています。

また、ある会合で三戸さんのバイオリン・小澤さんのチェロにフルートとビオラを加え生の演奏をしていただいたことがあります。大変心に響く演奏で優雅なひと時を過ごしました。

以下は東京文化会館で 2020 年 1 月 20 日演奏された三戸さんの演奏に対する音楽評論家小倉多美子さんの論評です（音楽の友に掲載）。三戸さんの演奏を理解する上で参考にして下さい。

三戸素子 バイオリン 1 月 20 日・東京文化会館（小）

J・S・バッハ「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第 3 番」、プロコフィエフ「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ」、J・S・バッハ「無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第 2 番」

国際的な活躍と共に柔軟な編成を繰り出す「クライネス・コンツェルトハウス」も主宰する、日本を代表するヴァイオリニストの一人。モーツァルト、ベートーヴェンをはじめ多様な作品で高い評価を受けているが、今回の無伴奏は限定するわけではないが、優れたバッハ弾きと言われるほど、確固とした物語が作曲家の言葉と重なるようにして熱く響いた佳演だった。

「パルティータ第 2 番」の「シャコンヌ」第 3 部、二短調に戻り終盤で執拗に繰り返されるイ音の力強さと勢い。三戸はこの「シャコンヌ」に、（イエスキリストが）ゴルゴダを登り、述懐し（長調部分）、再び死に向かう現実を二短調に読み取っている。いよいよ死へと向かう第 3 部も終盤で反復される、涙の滴りを描く同音反復でのいや増す熱量と響き渡る美音は鳴りやまぬカーテンコールが象徴していよう、心を捉えて止まなかった。「宗教面から聴く必要はない」（パンフ）象徴的なフィグーラを基軸にばかり聴く必要もないかも知れないが、第 1 部の短調 32 分音符の緊迫から長調に転じた時の安寧に満ちた柔和な音色、そして二長調部分のクライマックスを成した同音連打、リズムカルなクーラント、粘らないサラバンド、走り騒がず軽快な躍動感に覆うジグ等、見事な構成力でシャコンヌに至っている。ソナタから「来たれ、創造主なる聖霊」を主題に含む冒頭に据えた「第 3 番」での清澄なほど透明感を湛えた音色による多声と対照的に、ソリストとトゥッティが掛け合う楽しさを鮮やかに弾き分けたプロコフィエフ。高度なプログラミングでの稀有の J・S・バッハを聞いた。

●小倉多美子

われわれにとって理解するのはなかなか難しい評価ですが、作曲家の曲想を音であらわす三戸さんの演奏のすばらしさを感じることができます。



環境問題シリーズ 第6章

循環型・再生可能プラスチックの開発

特別寄稿 24 期生 佐藤 貞雄

1. まえがき

プラスチック(以後プラと呼称)の自然分解は300～400年要すると言われています。図1は生分解性プラスチック(以後バイオプラと呼称)ボトルは廃棄後約2年で、水と炭酸ガスに分解します。しかし、バイオプラは機能的な欠点があり、単一使用は出来ません。そこで、この研究はバイオプラの性能向上を目的に天然植物繊維を強化材として充填し、日用品のポリ袋、スチレントレー(含発泡スチレン)、食品容器等の代替品開発を目指したものです。

2. バイオプラと天然植物繊維の複合材

バイオプラは植物由来(PLA:硬質)と石油由来(PBS:軟質)の2種類あります。これに図2に示す植物(含針葉樹)から繊維を取出し、ミキサーで粉碎した後、「紙すき」の要領で180mm×200mmサイズのシートを作製します。一方、バイオプラは同サイズの金型にペレットを入れ、170℃、50kg/cm²で加熱・加圧して厚さ0.5～1.5mmのバイオプラシートを作ります。この2種類のシートの混合比を計算して交互に重ね合わせて金型に入れ、これを200℃、150kg/cm²の加熱・圧力下で15～20min間保持した後、冷却します。図3の①は金型から取り出した積層加工品、②は加工品から作製した性能評価用試験片です。

3. バイオプラ複合材の性能評価

図4は石油由来のバイオプラ(PBS)複合材の性能を引張強度試験によって評価したもので、対比するためPBS、PS(スチレン)、EPS(発泡スチレン)単一材を合わせて示します。同図から分かる様にシルクと藤を10wt%充填した複合材の引張強さはPBS単体のものと同じですが、30wt%充填したものでは19%向上します。これから明らかな複合効果が見られます。またEPSの7～8倍の引張強度を示します。

4. あとがき

環境汚染防止の一環として、表題に関するこれまでに得た知見の一端を紹介しました。許されたスペースの範囲では詳細な説明を省略せざるを得ませんでした。

「ところざわ倶楽部」の皆様で循環型再生プラにご興味のある方は気軽に声掛けして下さい。



図1 バイオプラの自然分解プロセス



図2 バイオプラと天然植物繊維

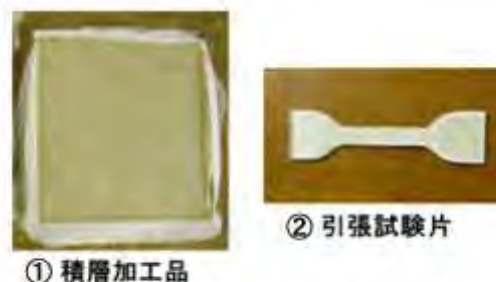


図3 バイオプラと繊維の積層品及び試験片

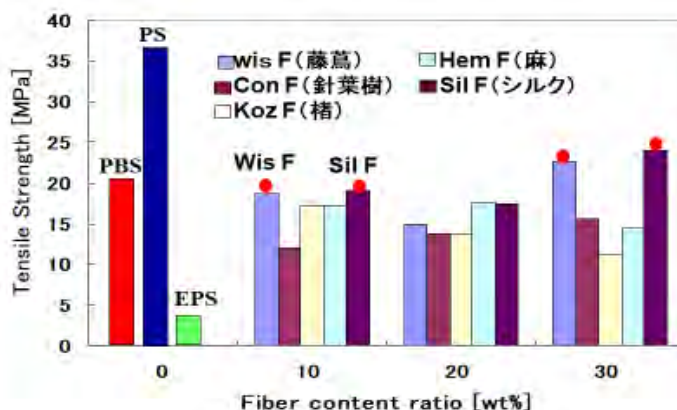


図4 バイオプラと植物繊維複合材の性能評価

おすすめの1冊
第13回

大西巨人の神聖喜劇

21期 西脇 英夫



戦記文学には、野間宏の「真空地帯」、大岡昇平の「レイテ戦記」、「俘虜記」、「野火」、阿川弘之の「雲の墓標」、竹山道夫「ビルマの豎琴」等がありますが大西巨人著の「神聖喜劇」は、戦後日本文学

の金字塔と評価される作品です。

凄まじい記憶力を誇る主人公の陸軍二等兵・東堂太郎が異常な軍隊世界の中で過酷な新兵訓練を受けるが、その超人的な記憶力と論理力を武器として軍隊内部の不条理に抵抗する。

1942年1月、対馬要塞の重砲兵聯隊に補充兵役入隊兵百余名が到着した。反戦活動で逮捕され九州帝大法学部を中退し新聞記者になった後に従軍する陸軍二等兵・東堂太郎もその中の一人。「世界は真剣に生きるに値しない」と思い定める虚無主義者である。厳寒の屯営内で、内務班長で「歴戦の勇士」大前田軍曹らによる過酷な“新兵教育”が始まる。この上官は、戦線で中国農民十数名を捕縛し15歳の娘とその母も犯したのち全員刺殺後に放火して名を挙げた「勇士」だと自ら語る。

超人的な記憶力を駆使した東堂二等兵の壮大な闘いが開始される。部落民出身者・冬木への差別、下士官による新兵への陰湿ないじめ。最後のどんでん返しなど、著者の実体験をもとにした5部から成る不滅の文学巨篇です。寡作の著者は、赤貧洗うがごとき生活の中で執筆に25年の歳月をかけこの大著を書き上げ97歳で生涯を終えました。みずからの長崎対馬での軍隊経験を基に、陸軍内部の理不尽さを、初年兵の痛烈な

批評眼からあぶり出した作品。重厚かつユーモアにあふれ、戦争とは何か、人間とは何か、日本人とは何かを考え続けてきた大西巨人の全5巻からなる代表作です。

近隣の民家の軒先からイカの干物を失敬したにすぎない末永二等兵に対し、「陸軍刑法上の重大犯罪」と咎め立てた上官たちは、ついに彼に「死刑」判決を告げる。東堂太郎は、軍規に定められた兵の正当な権利である「不条理上申」「意見具申」を実行。擬似死刑のような目にあっている時に、死刑反対論者であった東堂と冬木は我慢ができなくなってしまい「止めてください」と上官を制止、すると仲間の兵たちもそれに同調し絶叫する。この小説の山場だ。今まで東堂は法的知識によって上官をやり込めてきたが、たった一度軽い規則を破ったために、大前田に法的に追い詰められ罰を受ける。が最後のどんでん返しで、その大前田は女性問題で憲兵に捕縛され偶然、東堂とすれ違う。



「教養とは人の心がわかる心」(養老孟司氏)だとすれば、まさに教養とは何かを見定めることのできる小説です。読む速度が上がるのは、内容の面白さ・興味深さによるからでしょう。なお、書名の神聖喜劇は、ダンテの「神曲」の原題イタリア語の「神聖なる喜劇」からだそうです。

「世界の平和を考える」シリーズ 第1回



コロナワクチンによる世界の分断・格差の拡大

玉上 佳彦

中国、ロシアのワクチン外交が、これまでの武器・弾薬に替わり、途上国の取込みが活発化している。特に中国の2社（シノファーム、シノバック社製ワクチン）とロシアのスプートニク V（ガマレヤ研究所）が製造のコロナワクチンを政治的道具として、アジア、中近東、アフリカ、中南米諸国を中心に展開している。

その理由は明確で、欧米の Pfizer、AstraZeneca などの大手のワクチンは、供給量に限界があり、価格も高いため、中露の製品が人気になっているようだ。欧米大手メーカーのワクチンは、日本を含む先進国間の取合いとなっており、EU の輸出規制などもあり、途上国への供給は期待できないようだ。中国、ロシアはワクチンを途上国向けに安価で供給することによって、途上国への影響力を増すという戦略で、欧米諸国と対抗しているわけである。最近特に有名になったロシアのスプートニク V は、英国の有名な医学専門誌「LANCET」で効果が高いという評価の論文が発表されたため、非常に幅広い国々に輸出されるようになっていくという。

日本のワクチンは、厚労省と Pfizer 社との契約が、厳密な確約（コミット）ではなく、最大限の努力（ベストエフォート）だったようで、正式な契約ができていないのが現実のようだ。（出典：読売新聞 2021/2/26）やはり、日本の外交力の弱点を露呈されていると思う。コロナワクチンが、世界を分断し、先進国と途上国の格差を広げ、今後の世界の平和を乱す結果になりかねない不安を感じざるを得ない。

このほかに、世界の平和を脅かす課題・問題点としては、以下のようなものが挙げられるのではないかと思います、私の問題提起とさせていただきます。

- ・**分断**：前大統領による米国民の分断、差別の拡大は、人々の憎み合いを生み、戦後民主主義の幻想を破壊する結果となっている。戦後民主主義の形骸化・崩壊の隙間を狙って、中国、ロシアなどの社会主義独裁政権の台頭が世界の雄となるべく開発途上国を傘下に収める構想を固めつつある。その典型が、中国の一带一路政策であろう。
- ・**気候変動と食糧問題**：世界的な規模で気候変動による地球温暖化、水不足などに起因する食糧危機が目の前に迫っている。飽食で大量の食品ロスを発生する富める国と飢餓と貧困にあえぐ途上国との格差はますます拡大し、人口の増大と難民の増加は世界の平和を脅かす非常に重大な問題となっている。
- ・**民族紛争**：アフリカ諸国の民族紛争は、ますます激化しつつある。その紛争の理由は、民族、宗教、領土に関わる過去の軋轢に起因しているのであろう。民族紛争とはやや異質な世界かもしれないが、中国のウイグル族、チベット族などへの圧迫、迫害は現代の民族紛争ともいえるのではないかと思います。
- ・**人口問題**：先進国や中国の出生率減少、少子高齢化と途上国の人口爆発は対称的な現象であり、これに起因する問題は食糧危機などに関連して大きな不安を抱えている。



*新たな企画を始めるにあたって

広報部 玉上 佳彦

2018年6月号から本年1月号まで続けてきました広場の「戦争と平和！」シリーズは、広報部のたいへん優秀かつ積極的な女性編集委員の提案に基づいて、27名の方々に投稿いただき、過去の悲惨な戦争体験や関連するコメントなどを語り次いでいただきました。

しかし、現在は、戦後75年以上を経過し、過去の戦争を振り返ることなく、新たな世界を希求する世界を訴える時期が来ていると思います。我々高齢者世代だけでなく、これからの若者らと共に「世界の平和」をどう考えて行動していくべきかをこれからのテーマとして考えていきたいと思います。つきましては、今後の各号で、皆様の積極的な投稿をいただきたくお願いいたします。

サークル活動報告

環境を学び切れるか

地球環境に学ぶ

中島 峯生

毎月第3火曜日の定例会は、昨年までは環境に関する情報の持寄り報告でした。それでは内容が分散してしまう事から、毎月テーマを1件に絞り、討論会形式の時間をとって充実させました。

主なテーマは ①コロナ禍のドイツの環境・エネルギー政策の最近動向 ②中国のエネルギー状況と政策 ③ グレタさんについて ④プラゴミ問題 ⑤2050年ゼロエミッション達成の問題点 ⑥リニア新幹線の問題点 etc.です。

この中の「ゼロエミッション」は各分野の環境に直接関係し、今後の重要課題です。また「リニア新幹線」は夢の超特急として開通が待たれますが、静岡県知事は「南アルプスのトンネル工事は、大井川の水量低下が起こる」とのことで、工事を許可していません。

池上彰のTV番組放送によると、品川駅地下工事、実験線 500km/h 体験の報道と共に、笛吹市

の農家が、桃の木の散水に必要な水源が実験用リニア新幹線トンネル工事で涸れ、JRの補償で水槽を設けて対応していることも明らかにしていました。これと同じことが南アルプスのトンネル工事でも起こるのではないのでしょうか。一度壊した自然は戻りません。持続可能な開発か、如何に判断されて行くか注視していきます。



走行試験中のリニア新幹線（2018.11）

2つの市政課題のその後

傍聴席 石堂 智士

傍聴席は、2つの市政課題として、「地域公共交通政策」と「公共施設マネジメント」の学習会を継続して3年目を迎えました。今日は、再び「2つの市政課題のその後」を取り上げます。コロナ禍の活動中止はありましたが、昨年はほかにも、埼玉県出前講座「保健所のしごと」と市議員中村太「意見交換会」を行い、多くの会員が参集しました。

「地域公共交通政策」は、会員の自由意見を募集し、幹事村瀬氏による自由討議を得た後、10月に所沢市出前講座「地域公共交通政策・ところバス」を行いました。この出前講座は、公共交通・乗合バスの便数減少などによる交通不便地域に新たな公共交通手段を設けるため、三ヶ島地区の協議を得て、今年から乗合ワゴンの実証実験が始まることを私たちに教えてくれました。そして、柳瀬地区、中富地区などの交通不便地域へ拡大していく予定です。



公共交通手段を設けるため、三ヶ島地区の協議を得て、今年から乗合ワゴンの実証実験が始まることを私たちに教

えてくれました。そして、柳瀬地区、中富地区などの交通不便地域へ拡大していく予定です。

「公共施設マネジメント」は、昨年12月に「公共施設長寿命化計画（素案）」が発表になり、パブリックコメントが行われました。

この素案では、2つの基本方針が示されました。1つは「維持管理」による予防保全で使用年数を伸ばすこと。もう1つは「総量の適正化」で機能を残し、小学校を中心に複合化を進めることです。今後10年間は「維持管理」に努め、次の10年間で4校を複合化、次の10年間で7校を複合化する計画です。30年後でも、全小学校32校の3/1しか複合化されません。残り21校は30年後以降に順次複合化される計画です。



(所沢市議会議場)

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

3月11日(木)中央公民館8・9号室 13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30 及川先生講義(万葉集③) 15:40～16:40 例会、消毒・整理
4月15日(木)中央公民館8・9号室 13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30 及川先生講義(万葉集④) 15:40～16:40 例会、消毒・整理

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

3月17日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ：川田良太郎氏(所沢の自然と農業)による
中国三峡ダム建設に関する報告
4月21日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ：未定

3. 活いききシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

3月24日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター101 定例会
「SDGsについて学ぼう」
4月28日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター101 定例会
テーマ 未定

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

3月9日(火)13:15～16:30 中央公民館 3階8・9号学習室
ヴェルディ歌劇「椿姫」ロリン・マゼール指揮ミラノ・スカラ座
4月13日(火)13:15～16:30 中央公民館 3階8・9号学習室
ヴェルディ歌劇「オテロ」アントニオ・パッパノー指揮2017年
楽しい音楽を一緒に！！

5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

3月16日(火)10:00～12:00 ふらっと(会議室)講演会『正しい日用品、化粧品の選び方』～免疫力を下げない生活～ 講師古市千夏氏
3月30日(火)飯能市 OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～見学(有志)
4月20日(火)10:00～12:00 ふらっと(会議室)
講演会「コロナウイルス感染とワクチン」 講師 玉上佳彦氏

6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

3月16日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 ①討論会「サークル環境宣言」第3回
②持寄り環境情報、
4月20日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 ①環境討論会 ②持寄り環境情報、他

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 90-9820-5668)

3月10日(水)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室1号
定例会 「コロナ禍 緊急事態宣言は解除なるか、その時？」
(SP チアダンス練習日) 見学大歓迎
3月13日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室
3月27日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

3月11日(木)13:00～15:00 新所沢公民館3号室 定例会
3月16日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣東山散策路整備
3月26日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣東山散策路整備
4月8日(木)9:30～13:00 新所沢公民館5,6号室 定例会
うち11:00より柳瀬荘管理人針生さんの講演会

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大舘 徹 2924-3010)

3月18日(木) 所沢駅西口駅前広場9:10 集合
八国山散策と神社仏閣巡り
4月1日(木)9:30～ 旧鎌倉街道歩き(堀兼ルート)
※雨天、コロナなどの状況により中止もあります。

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

3月6日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号
「ヘンリー4世」朗読の続き
※3月20日(土)の練習は都合により中止となりました。

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

3月9日(火)10:00～12:30
洋画「プリティウーマン」ジュリア・ロバーツ(90年 米)
3月23日(火)10:00～14:30 西新井町会館 イベント有
邦画「次郎長・三国志」(63年) 鶴田浩二・佐久間良子
※季節の節句行事「桃の節句」 ひな飾りなど 展示

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

3月22日(月)13:30～15:30
子どもと福祉の未来館 多目的室2号
会員による講座「アルツハイマー病、最新の革新的治療プログラム」講師・鶴野沢実豊氏
4月26日(月)13:30～16:00「総会」同館・多目的室3号

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

3月15日(月)14:00～16:00 新所沢東公民館研修室1号
「総会・今年の計画」会員の自由討議など 定員15名
4月19日(月) 新所沢東公民館
※チャリティコンサートと重なったため、日程を検討

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

3月19日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
多目的室4号 サークル活動紹介
新作『たにしのやせ我慢』録画を行います。
4月16日(金) こどもと福祉の未来館 定例会
5月散策「民話由来地巡り」の詳細検討を行います。

理事会報告

2月8日理事会を初めてZoom オンラインで開催しました。
コロナ禍の中、感染防止対策を十分に行いながら事業を進めて行くことを確認。・2月18日(木)野老澤の歴史をたのしむ会との共催で、航空公園歴史探索を実施。好天の中34名参加。・4月19日(月)チャリティコンサート開催。新所沢公民館ホール 14時開演。定員120名。倶楽部会員+27期生に限定募集。2月末仮締め。

チャリティ募金は所沢市社会福祉協議会へ寄付するほか、フードバンク食料募集します。・広場世界の平和シリーズをスタートしました。・PC相談会はスキルアップの成果があり、さらなるレベルアップのための勉強会を立ち上げます。・サークル活動補助金を3月配布します。・27期生向けに各サークル紹介例会案内チラシを生涯学習センターに掲示します。

みんなの広場 第30回

楽悠クラブ 鹿嶋 伸郎



コロナ禍でのつぶやき…あれこれ



外出自粛が続く中、身辺整理をはじめました。古いアルバムを整理しているとセピア色になった写真の母親がほほ笑みながら「そちらは大変なことになっているわね、元気にしているの？こちらは空が青く、そよ風が吹いていて花も満開だよ」と語りかけてきました。「GoToトラベルで行ってみたいけど帰ってこれないから、まだ行かないよ…」と私。

国会中継で自宅療養中に亡くなった方々について「大変申し訳ない」との思いを総理が表明すると野党議員が「そんな答弁だから言葉が伝わらないんですよ。あなたは総理としての自覚や責任感、それを言葉で伝えようとするそういう思いはあるんですか？」と威圧的な物言いで攻撃をしていました。政治家は政策論を戦わせるべきで、今の国難時こんな芝居がかかったパフォーマンスはやめて一致団結し、ワクチン接種を円滑に進め全力で一日でも早い収束に努めてほしい。

皆さん、普段とは違う生活環境や外出自粛などで、ストレスが溜まってきていませんか？音楽を聞くと心が癒されたり勇気づけられたりすることが多くあります。楽悠クラブで“心にビタミン”を、オペラ・クラシック・ミュージカル・ジャズ・映画音楽等々を一緒に楽しみましょう！

むさし野俳句会（令和三年三月）作品抄

散策のいつものコース沈丁花	白神 恵子	堂ぬちの閻魔の睨み多喜二の忌	荒幡千鶴子
柔き畔そつと踏み込み露のたう	高梨 千代	樅の木に日の移ろひぬ雛納	井出 昇
囀りや昔戦ひありし跡	高橋三加子	産土の鳥居に残る雨水かな	海老澤愛之助
武蔵野の蒼天翔る雲雀かな	利根川啓一	露天風呂胸の谷間の春の雪	小林 貞夫
如月や蔓絡まりし風見鶏	中嶋 弘子	よき声の春を待たずに逝きにけり	小林 典子
捨て煙は日に包まれて仏の座	橋本 佑子	味噌搗女納屋に弾ける大笑ひ	佐藤 八郎
黄水仙一輪挿しの江戸切子	平栗 彰子	植込みに散らばる羽毛春浅し	鈴木 征子
手の平や今朝の一滴水温む	宮本 信生		

「むさし野俳句会」も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者に（照会下さい）。

連絡先 小林 2996-4941 井出 2944-9833 海老澤 2922-0259

《編集後記》

日ごとに日差しが暖くなり、春の息吹が感じられる季節となった。ようやくコロナワクチン接種が開始され、長く暗いトンネルの先にかすかな光が見えてきた。

今回のコロナ禍では、日本の医療体制不備やウイルス研究の遅れが明らかになった。今後も新種ウイルスによるパンデミックは周期的に発生するとの警告もあり、抜本的対策の必要性を強く感じた。

東京オリンピック・パラリンピックの開催有無について決断が迫られるなか、大会組織委員会の森前会長の「女性蔑視」発言による辞任劇があり、橋本新会長の選任が急遽実施された。2月16日付朝日新聞世論調査によれば、開催中止・再延長の割合は74%とのことだ。政局や経済的損得の思惑ではなく、国民が共感し開催を支持できるようなオリンピック憲章実現のための具体策、実施判断基準や感染対策が早期に公表されることを期待している。（川上 記）

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳「六十」 作品発表 選 中島肇生

課題「夕飯」

夕飯に晩酌つけてこれでよし
家族減りコンビニおかずチンですむ
スーパの惣菜ならぶ我が夕飯
夫婦って夕飯食べる間柄
お夕飯お酒つけますお風呂さき
夕ご飯カップ麺だよ妻は留守

「自由題」

コマージュババ限定の口車
政治家のルール破りはいつの世も
孫の顔幼いほどに吾老いる
大河見て光秀謀反許せそう
年重ねやけに気になる富士サクラ
終活が錦の御旗家寒い

庵 閑 子	ど う し	縄 文 人	海 さ と る	突 拍 子	り ん ぐ 好 き	鼻 ・ 鬚
-------	-------	-------	---------	-------	-----------	-------

次回（第61回）課題「できる」そして「自由題」

締切り日：3月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161